



国立大学法人 福島大学  
共生システム理工学類

VOL. 21  
2015.9

# 後援会だより

## ごあいさつ

福島大学共生システム理工学類長 二見 亮弘



本年4月より、石原前学類長の後任を務めております。研究分野は生体情報工学で、神経と筋が関わる人間の感覚情報処理や運動制御を支援する応用的研究を専門としております。

さて、昨今の新聞報道の通り、いま国立大学は大きな変革の時期を迎えていますので、説明させていただきます。教育再生実行会議や産業競争力懇談会などの提言を受けて、文部科学省は2015年3月に「理工系人材育成戦略」を公表しました。また文部科学大臣は2015年4月の文書で、新たな経済社会を展望した大胆な発想の転換の下で自ら改革に取り組む大学に対して、メリハリある重点支援を実施するとしました。このような状況の中、秋田大の国際資源学部設置、宮崎大の地域資源創成学部設置、滋賀大のデータサイエンス学部設置など、理工系人材育成機能強化が各地で活発に実施・計画されています。少子化による日本の産業競争力低下や経済社会衰退への危惧と、それを避けるために必要な人材育成への社会的要請が、強く感じられます。

本学では約11年前の組織再編により、地域の要請に応えた共生システム理工学類が設置され、自然科学系の人材育成が始まりました。そして現在、少子化等により国立大学を取り巻く状況はさらに変化し、地域社会のニーズに合わせて強みや特色を強化する組織改革の、次の強力な一歩が求められています。本学類としても、基礎からの積み上げで習得されることを特徴とする理工学系の学問分野や、人間や社会を理工学的研究手法を使って理解しようとする学問分野などにおいて、主体的に考えて行動できる人材の育成機能をより実質化できるよう、教育内容の改革や教育の質の保証を行い、社会に対して責任を果たしていく所存です。

後援会の皆様には、本学類の教育をさらに充実したものにしていくために、益々のご支援をよろしくお願い申し上げます。

## 「保護者のための就職セミナー」開催のお知らせ

平成27日10月31日(土) 13時~14時30分 福島大学共通講義棟L-4にて

いまだきの学生の就活模様について本学学生の様子を、キャリア研究部門の五十嵐敦教授が紹介いたします。詳しくは別紙の参加申込書をご覧ください。

参加  
無料

## 一年生紹介

### Aグループ

小山 純正

Aクラスは、男子17名、女子4名で構成されています。

積極的な人、控えめな人、などさまざまな人が集まっています。興味もさまざまな方向を向いているようですが、クラスでまとまろうという気持ちの強いクラスです。機会があると懇親会の相談が始まります。全員からの質問を受ける“自己紹介大会”では、お互いの理解を深めることができたようです。質問にも、その答え方にも、それぞれの個性を垣間見ることができました。ただ、“自分の長所は?”という問いの答えに窮する人が多かったのは意外でした。この問いにしっかり答えられる自分になって欲しいと願っています。



### Bグループ

石川 友保

Bグループは、男性17名、女性4名の合計21名で、福島県の出身者が半数以上です。前期の教養演習では、各種ガイダンスのほか、発表方法の学習や上級生との交流会などを行いました。発表方法の学習では、「福島県を知る」をテーマに、3人1組で課題設定・調査・発表を行いました。みなさんが積極的に活動し、個性的で興味深い発表でした。グループのみなさんの学生生活が充実するように、サポートしたいと思います。



### Cグループ

兼子 伸吾

Cグループの「教養演習I」では、情報検索や学生生活についてのガイダンスと共に、大学生あるいは社会人としての基礎的な技術の習得を目指した演習を行っています。これまでに、普段はあまり読まないような本を輪読で深く読む演習や公式なEメールの書き方講座などを行いました。今後は、レポートや発表に関する演習を行っていく予定です。日々の生活や大学での講義等を通じて、一人前の大人に成長してくれることを期待しています。



## 一年生紹介

### Dグループ

馬場 一晴

Dグループは男子17名、女子4名からなる朗らかなクラスです。福島県出身の人が多いものの、遠くは愛媛県からの学生もいます。前期前半には大学での学び方を学修し、後半からは数学、情報、物理I、物理II、化学、心理学I、心理学IIという7つのグループに分かれて各分野を勉強しました。7月中旬ごろに発表会をし、パワーポイントを使って1人5～10分程度の発表をしました。後期ではさらにしっかりと調査・資料作り・プレゼンテーションを目指します。



### Eグループ

中川 和重

Eグループは男子17名、女子4名の21名で構成されています。勉学に励む者、部活・サークル・大学祭活動などに打ち込む者など、様々な個性を持った学生たちです。そろそろ教員を驚かせる?パフォーマンスが見られ始める頃と期待しています。クラスでは各種ガイダンスの他、レポートなどの課題への取り組み方、グループ学習での議論の方法を学び、上級生や院生に懇談会を通して進路等のアドバイスを受けました。また、先日は後援会のご支援のもと他クラスと合同で上級生との懇親会を実施し、学生間の親睦が深まりました。



### Fグループ

川崎 興太

Fクラスは、男子17名、女子3名で合計20名の学生から構成されています。前期には、友達をつくることを主たる目的として、ディスカッションを行いました。具体的には、4つのグループに分かれて、それぞれのグループでテーマを決定。出てきたテーマは、「どうすれば彼氏/彼女ができるか?」などなど。次の授業までに、それぞれのグループが全員で、テーマに即した資料を作成。授業では、グループの全員で資料を説明し、クラスの全員でディスカッション。みんな楽しく話し合い、友だちが一人、また一人と、できたようです。ただし、うまく彼氏/彼女ができたかどうかはわかりません。



## 一年生紹介

### Gグループ

増田 正

Gグループは、ベトナムからの留学生グエンさんを含む20名です。前期は様々なガイダンスの他に、5名ずつ4班に分かれて懇談会と調べ学習を行いました。懇談会では、勉強、サークル、アルバイト等の近況について話を聞きました。調べ学習では、お金持ちになる方法について調査しました。図書館から本を借りて読んだ後に、スライドを使って発表会を行いました。お金の価値、起業、幸福感など多岐に渡る内容でしたが、これからの進路を考える上で少しは役立つかと思います。



### Hグループ

南部 和香

Hグループは、女性3名、男性17名の計20名のメンバーで構成されています。ひょうきんな学生さん、控えめな学生さんと様々ですが、全体として明るく伸びやかな雰囲気のあるクラスです。小学校時代からの野球のライバル同士が同じクラスになるという、驚きの再会もみられました。「教養演習I」では、各種ガイダンスの他に、大学内を散策する企画や、先輩学生や院生との学生生活や進路についての懇談会、他のクラスとの交流等を行いました。また、少人数のグループによる課題研究のプレゼンや、レポートの書き方などの基礎的な学習も行いました。



### Iグループ

難波 謙二

Iクラスには20名が所属しています。教養演習では学習に必要なスキルを学ぶことになっています。今までのところプレゼンの練習として、出身地や出身高校の紹介、部活動や趣味で力を入れていること、感動的なローカルな食べ物、外国語の学習状況、最近または昔読んで感動した本の紹介、小学校の頃の記憶に残った出来事、等毎回異なるテーマで全員が話しています。質問をはさんだりしながら1人3~4分くらい、まるで時間をかけて出席を取っているようでもあります。先日はボーリング大会を開催しました。



# 学生生活支援便り

共生システム理工学類 学生生活委員会

紙面を拝借いたしまして、後援会の皆さまに理工学類の学生の動向、学生生活上の注意などをお知らせしております。

## 【学生交流会について】

毎年開催されている、学年を通じた学生同士の交流、教員との交流を深めることを目的にした学生交流会が5月27日(水)に大学会館で行われました。発足当初は教員主導で行われたこの会も、理工学類学生自治会で計画、運営をする学生主体の会に変化してきています。参加学生も昨年より多く、準備していた飲み物や軽食が足りなくなるのではと、運営する自治会役員も気をもむほどでした。今年

度で11年目となる理工学類の伝統として根付いて行くことと思います。

この会では2~4年生(H26年度1~3年生)の学生表彰も行われ、今年も各学年約15名の成績優秀者が表彰されました。賞状および副賞(図書カード)については後援会からのご支援をいただいております。この場を借りてお礼申し上げます。

平成26年度成績優秀者表彰

Congratulations!

1年	2年	3年	4年
元村 隼登	佐藤 弘基	柳沼 貴寛	吉川 慧
遠藤 大介	霜山 翼	山野 一騎	青野 真依
中村 駿介	田辺 将大	関根 康平	阿部 周平
ホー ハイ ソン	柳田 知美	新井 貴裕	渡邊 健作
藤澤ひかる	丹野花奈子	ロウ シホウ	渡邊 愛
深谷智亜稀	高澤 啓太	五賀 翔太	八木沼寛子
鈴木 花苗	貝沼 修弥	鈴木 絢美	鹿野 雄大
清嶋 悠介	石川 竜也	阿部 良祐	宮崎 美妃
矢吹 怜太	櫻井 貴将	柳沼 良祈	佐藤ひかる
赤塚こうみ	関根 大朗	柏原 奈々	大島 雅史
岩崎 貴裕	永作 美有	新山 昌悟	井上 浩太
高久 隼門	斎藤 捺樹	大島 涼	今野 浩道
平尾 瑞穂	佐藤紗亜耶	高木 勇人	鈴木裕香子
佐藤 耕平	澤崎 萌香	宗像 愛	市川 璃美
續橋 和樹	中島 孝明	泉田 亮	外山 亮
細越 裕人		井上 智絵	中村 誠彌

## SNSの利用について

LINE や Twitter、Facebook など SNS(ソーシャル・ネットワーク・システム)は、スマートフォンの普及とも連動して広く利用され、友人や家族間だけでなく、見知らぬ人とコミュニケーションをとるため便利な道具となっています。しかし、時々ニュースなどでも報道されているように、SNS 利用に伴うトラブルも様々なものが報告されています。被害としては、友人を装ったオレオレ詐欺や、SNS依存による睡眠不足・体調不良、発信意図がうまく伝わらないことによる誤解やトラブル、「炎上」、不用意な設定による個人情報の漏洩などがあります。個人情報の漏洩については、他人の連絡先情報などが漏洩してしまうと、加害者になってしまう場合もあり、最近ではいたずらのつもりか、アルバイト先で食品の入った冷

LINE や Twitter、

Facebook など SNS(ソ

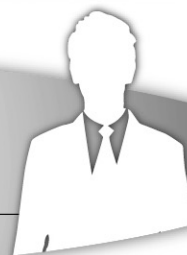
蔵庫に入った写真を SNS で公開し、店に経済的に被害を与えてしまい、訴訟にまで発展するケースも出ています。トラブルの多くは、日常の社会生活にあてはめれば「非常識」なことだと容易に理解できるのに、SNS では常識の「たが」が外れやすいようです。加えて、相手を登録するだけで簡単に「友達」としてしまい、そのわりには人付き合いの機微を表現・調整する手段としては全く未熟な機能しか持たないのも SNS の特徴ですから、その特徴を熟知した上で使いこなしたいものです。

福島大学では、SNS をめぐる、このような社会情勢を受け止め、入学時のガイダンスや、教養演習でのアナウンス、情報処理の授業などを通じ、不用意な利用により、被害者・加害者になってしまう SNS 利用について、注意を喚起しています。



## 平成26年度 卒業生・修了生の進路状況と 今年度の就職活動状況について

共生システム理工学類就職支援委員会・委員長



平成26年度の福島大学の就職状況は、表1の通りです。現在の学群学類制になって以降最高の就職率であった昨年(95.8%)をさらに上回り、全体として96.7%、理工学類としても昨年度を0.8ポイント上回って95.6%の就職率となりました。震災から着実に復興を遂げているという印象です。以下では、共生システム理工学類卒業生および大学院修了生の進路状況と今年度の就職活動状況等についてご報告いたします。

表1 福島大学の進路状況(単位:人)

進路状況	人間 発達	行政 政策	経済 経営	現代 教養	共生 理工	全体
卒業生	271	234	224	64	169	962
就職者	213	197	195	39	108	752
進学者等	34	8	10	2	44	98
その他	24	29	19	23	17	112
就職率	96.8%	99.0%	96.5%	88.6%	95.6%	96.7%

### 1. 卒業生・修了生の進路状況

過去3年間の学類卒業生の進路状況を表2に示しています。業種的には、製造業、情報通信業が多く、次いで卸・小売業といった傾向は変わりません。また、公務員・教員も一定の割合を占めています。公務員については安定志向と地元に残りたいという気持ちの表れのようなようです。教員については、福島県からも理数教員の担い手として期待されている面があります。

都道府県別では、福島県内が45%、県外で出身者が多い宮城、栃木、茨城の隣接県を含めると68%になります。東京と神奈川が25%で、これらで9割以上を占めています。

一方で、大学院進学者が44名(内他大学や他研究科8名)と少ない状態が続いています。理工系の場合、高度な専門的な知識を必要とするケースも多いので、進学という選択肢もぜひ念頭に置いて進路を決定してほしいと思います。大学院では、TAや奨学金など経済的なサポートも充実しており、学類に比べて経済的な負担は少なくなりますので、保護者の方々にもご理解とご協力をお願いいたします。

大学院博士課程前期修了者の進路を表3に示しています。こちらも97.4%と過去最高の就職率となり、多くは製造業や情報通信業に就職しています。

大学院博士課程後期は、4名の修了者があり、3名は大学等の研究教育職に1名は民間企業(製造業)へ就職いたしました。

表2 理工学類生の進路状況(単位:人)

過去3年の進路状況		H24 年度	H25 年度	H26 年度
卒業生		187	167	169
就職者 (a)		106	110	108
業種別 就職者内訳	農・漁・鉱業			
	建設業	4	6	1
	製造業	19	11	19
	電気・ガス・水道業		4	2
	情報通信業	14	21	19
	運輸業、郵便業	5	4	2
	卸・小売業	10	10	9
	金融業	6	6	3
	保険業	1	2	1
	不動産業、物品賃貸業	0	1	3
	宿泊業、飲食サービス業	1	1	2
	教育・学習支援業	4	2	0
	医療、福祉	4	1	1
	複合サービス業	1	3	1
	サービス業	4	6	6
	国家公務員	2	1	7
地方公務員	21	20	26	
教員	8	8	6	
自営業	2	3	0	
進学者等		55	39	44
その他		26	18	17
その他内訳	未定者 (b)	9	6	5
	公務員等希望者	12	9	4
	有職者			
	その他	5	3	8
就職率		92.2%	94.8%	95.6%

\*就職率=就職者÷就職希望者【就職者(a)+未定者(b)】

### 2. 平成27年度の就職活動状況

平成27年度卒業・修了予定者から就職活動のスケジュールが大きく変わっています。就活の早期化・長期化による学業への悪影響などを理由に、経団連が加盟企業(約1300社)向けに、会社説明会の解禁時期を3年生の3月、面接などの選考活動は4年生の8月へと、従来より説明会は3カ月、選考活動は4カ月遅らせる、という指針を出したためです。

一方で、経団連の指針と関係ない、中小企業やベンチャー、外資系企業のほか、大手の中でも8月を待たずに採用活動をスタートさせ、これまで通り早めに採用活動をして内々定を出すところもあって、採用期間が分散化し、逆に就職活動期間が長期化する懸念もあります。大企業に落ちた後、中小企業を受ける時間がなくなることで、不利になるケースが生じることも考えられるため、学生が混乱したり不利益にならないように、各企業の採用動向に注視しながら、情報提供に努めています。

表3 大学院博士前期修了生の進路状況(単位:人)

	H24年度	H25年度	H26年度	
修了者	45	41	45	
就職者(a)	31	36	37	
就職者内訳	民間企業等	24	27	34
	国家・地方公務員	4	5	1
	教員	2	4	2
	自営業	1	0	0
進学者	4	3	1	
その他	10	2	7	
その他内訳	未定者(b)	5	1	1
	公務員等希望者	0	0	3
	有職者	1	1	2
	その他	4	0	1
就職率	86.1%	97.3%	97.4%	

\*就職率=就職者÷就職希望者【就職者(a)+未定者(b)】

表4 博士前期修了生の業種別就職状況(単位:人)

	H25年度	H26年度	
業種別内訳	農・漁・鉱業	1	1
	建設業	1	2
	製造業	11	14
	情報通信業	5	4
	運輸業、郵便業	2	3
	卸・小売業		3
	保険業	1	
	不動産業、物品賃貸業	1	
	教育・学習支援業		1
	複合サービス業	1	
	サービス業	4	6
	計	27	34

今年は好景気で大手が採用予定数を増やしており、これまでよりも大手企業に採用されやすい状況になっています。一方、中小企業にも知名度は少ないが技術力や開発力を持った優良企業も多数ありますので、自分のやりたいことをしっかりと見極め、就職活動に望んでほしいと思っています。

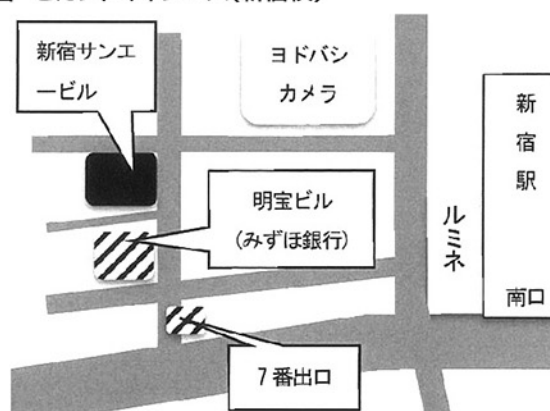
### 3.セカンドキャンパス(新宿校)を開設

福島大学では、これまで就職に関わる様々な取り組みと支援を実施してきましたが、それらに加えて今年度、首都圏での就職活動の拠点として「セカンドキャンパス(新宿)」を3月～8月の間開設いたしました。場所は、下図に示すように、新宿駅南口改札を出て右に向かい、道路を渡って新宿駅を背にヨドバシカメラを右手に見ながら5分ほどの距離にある「新宿サンエービル」の1階です。7番出口から出ると目の前に見える立地のよい場所で、みずほ銀行の支店の向かい側のわかりやすい所にあります。福島大学の学生は無料で利用できます。

他大学の学生との共同利用の施設ですが、就職試験の選考や会社説明会等の前後に自由に立ち寄りラウンジで休憩したり、情報収集の場所として活用できます。また、インターネット、コピー機、デスク、就職対策本、更衣室、荷物預かり、携帯の充電等のサービスが無料で利用できます。

福島大学の学生は、朝早く立ち寄り荷物を預けて、夕方預けた荷物を受け取って帰るというケースが多いようで、5月・6月は月に70～80名ほどが利用したとのことです。

図 セカンドキャンパス(新宿校)



- 住所 〒160-0023  
東京都新宿区西新宿1-22-2  
新宿サンエービル1階
- 利用可能時間  
3・4・8月平日 7:00～21:00  
5・6・7月平日 9:00～21:00  
3～8月土曜 9:00～21:00  
※日曜・祝日・8月15日(土)は休み

### OB&OG講演会を開催しました

平成27年7月29日(水) 12:00～13:30

本研究科修了生が「大学研究・企業研究の違いと現実-将来をイメージしてみよう-」と題し、体験談を交えて講演しました。また、就活体験や意思決定時の考え方も紹介しました。将来研究職を目指す学生の将来イメージを明確にし、就活へのアドバイスになったかと思います。



平成26年度  
共生システム理工学類後援会  
会計決算報告

収入内訳				(単位円)
科目	予算額	決算額	比較増減額	備考
繰越金	7,471,991	7,471,991	0	学生活動助成(36万円×6年)、福利厚生費(18万円×6年)、通信費(3万4千円×6年)等を含む
会費	3,600,000	3,630,000	30,000	入学者(編入学生を含む)
雑収入	0	1,187	1,187	利息
収入合計	11,071,991	11,103,178	31,187	

支出内訳				(単位円)
科目	予算額	決算額	比較増減額	備考
事務局運営費				
総会費	5,000	6,825	△1,825	資料印刷費等
役員会費	130,000	108,560	21,440	理事会会場費、交通費、資料費
人件費	600,000	600,000	0	事務職員給与
事務費	45,000	50,817	△5,817	通信費、消耗品費、事務局備品等(事務用PC)
小計	780,000	766,202	13,798	
事業費				
学生活動助成費	600,000	475,063	124,937	学生の課外活動支援費、表彰制度
就職指導対策費	300,000	204,675	95,325	企業講演会、企業交流会、親のための就職セミナー補助
後援会報費	300,000	361,520	△61,520	会報年2回発行 印刷費・発送費
福利厚生費	720,000	308,000	412,000	アドバイザーグループ助成 研究室配属学生補助:1,000円*180*4
学類運営助成費	200,000	46,000	154,000	理工系学部会長会他学類の対外交渉・応接に要する経費
教育研究助成費	700,000	556,122	143,878	実地指導・実習指導助成、資格試験受験助成:3,000円*100、学会参加費、研究交流会費、海外演習助成:30万
小計	2,820,000	1,951,380	868,620	
予備費	0	95,092	△95,092	学籍異動に伴う会費返還費
支出合計	3,600,000	2,812,674	787,326	

収入合計-支出合計= 8,290,504 円は平成27年度へ繰越

平成27年度  
共生システム理工学類後援会  
会計予算

収入内訳				(単位円)
科目	本年度予算額	H26年度予算額	比較増減額	備考
繰越金	8,290,504	7,471,991	818,513	
会費	3,600,000	3,600,000	0	5,000円*180名*4学年
雑収入	0	0	0	預金利息等
収入合計	11,890,504	11,071,991	818,513	

支出内訳				(単位円)
科目	本年度予算額	H26年度予算額	比較増減額	備考
事務局運営費				
総会費	10,000	5,000	5,000	資料印刷費等
役員会費	130,000	130,000	0	理事会会場費、交通費、資料費
人件費	600,000	600,000	0	事務職員給与
事務費	40,000	45,000	△5,000	通信費、消耗品費、事務局備品等
小計	780,000	780,000	0	
事業費				
学生活動助成費	600,000	600,000	0	学生の課外活動支援費、表彰制度:5,000円*45人
就職指導対策費	300,000	300,000	0	企業講演会、企業交流会、親のための就職セミナー補助
後援会報費	400,000	300,000	100,000	会報年2回発行 発送費を含む
福利厚生費	720,000	720,000	0	教養演習グループ・研究室配属学生助成:1,000円*180名*4年
学類運営助成費	100,000	200,000	△100,000	学類の対外交渉・応接に要する経費
教育研究助成費	700,000	700,000	0	実地指導・実習指導助成、資格試験受験助成:3,000円*150人、学会参加費、研究交流会費、海外演習助成
小計	2,820,000	2,820,000	0	
支出合計	3,600,000	3,600,000	0	
予備費 (繰越金)	8,290,504			学籍異動にともなう会費返還費 学生活動助成:36万円*(1年+2年+3年) 福利厚生費:18万円*(1年+2年+3年) 通信費:3万4千円*(1年+2年+3年)
合計	11,890,504			

平成27年度 福島大学共生システム理工学類 後援会役員

会長 野田 博正 / 副会長 阪本 松男 / 副会長 根本 博幸 / 理事 計良 浩  
 理事 丹野 茂生 / 理事 押切竜一郎 / 理事 鈴木 忠継 / 理事 野地 英男  
 理事 遊佐 正広 / 理事 佐藤 由美 / 理事 細川 隆弘 / 理事 藪内 敬子

福大祭へ  
お越しく下さい!

第51回 福大祭 本祭(一般公開)

●場所:福島大学  
 ●日時:平成27年10月31日(土)~11月1日(日)  
 ステージ発表・模擬店・子ども向け企画・学外展示・  
 お笑いステージなどを企画しています。

■ご意見・ご要望は共生システム理工学類後援会 まで

事務局:〒960-1296 福島市金谷川1 福島大学理工学群共生システム理工学類内 TEL&FAX 024-548-8176

学類のHPで様々な教育・研究活動をご覧ください。 <http://www.sss.fukushima-u.ac.jp/>